

母親大会とは

1945年、ヒロシマ・ナガサキの被爆に続き、1954年のビキニ水爆実験で三たび死の灰の犠牲者を出した日本の母親たちが、「子どもたちを核戦争から守ろう」と原水爆禁止の運動を始めました。

この声は平塚らいてうたちにより世界に伝えられ、世界母親大会がスイスのローザンヌで開かれました。日本代表を送り出すため、1955年、東京で第1回日本母親大会が開催されました。

それから63年、「生命を生み出す母親は…」のスローガンのもとに、多くの団体・個人が毎年母親大会に集まり、問題を話し合い、行動をすすめています。

分科会 13:00~

	分科会名	助言者
1	子育て・教育を語る 我が子の子育てについて、 ざっくばらんに 語りあいましょう	渡辺真由美 (元小学校教員) 甲田 由夏 (新座市学童保育 保護者の会会長)
2	高齢期と社会保障 どうなるこれからの 医療・介護	柴田 泰彦 (埼玉県社会保障 推進協議会会長)
3	私たちの暮らしと平和 私たちの暮らしの中で 教育・福祉は	手塚 純一 (勤労者通信大学講師)



白神優理子プロフィール

神奈川県海老名市生まれ。厚木米軍基地の近くで育つ。基地について幼い頃より関心を持つ。和光高校在学中から、高校生平和ゼミナールを中心に平和活動。世界の子どもの平和像をつくる会や東京高校生平和のつどいの実行委員長を務める。

運動の中で、日本国憲法の本質である平和と民主主義を実現し、困っている人のために法律を使いたいと決意、弁護士を志す。立命館大学法学部に入学し、イラク戦争反対の取り組みや、立命館大学9条の会を立ち上げて活動。中央大学法科大学院で大学院生9条の会に参加。

2013年弁護士登録。八王子合同法律事務所所属。日本労働弁護団、過労死弁護団所属。憲法・労働法制などの講師活動に多数取り組む。東京高校生平和のつどい、各地の母親大会などで講演。

著書: 弁護士白神優理子が語る「日本国憲法は希望」(平和文化)

第44回新座母親大会実行委員会

地域実行委員(個人名は略) 子どもの問題連絡会 保育園保護者連絡会 新座市教職員組合 新座市職員労働組合 さいたまコープ委員会 埼玉土建主婦の会 新座民主商工会 新日本婦人の会 新座市学童保育の会 性と子育てを考える会 年金者組合 医療生協 新座市民主教育を進める会